

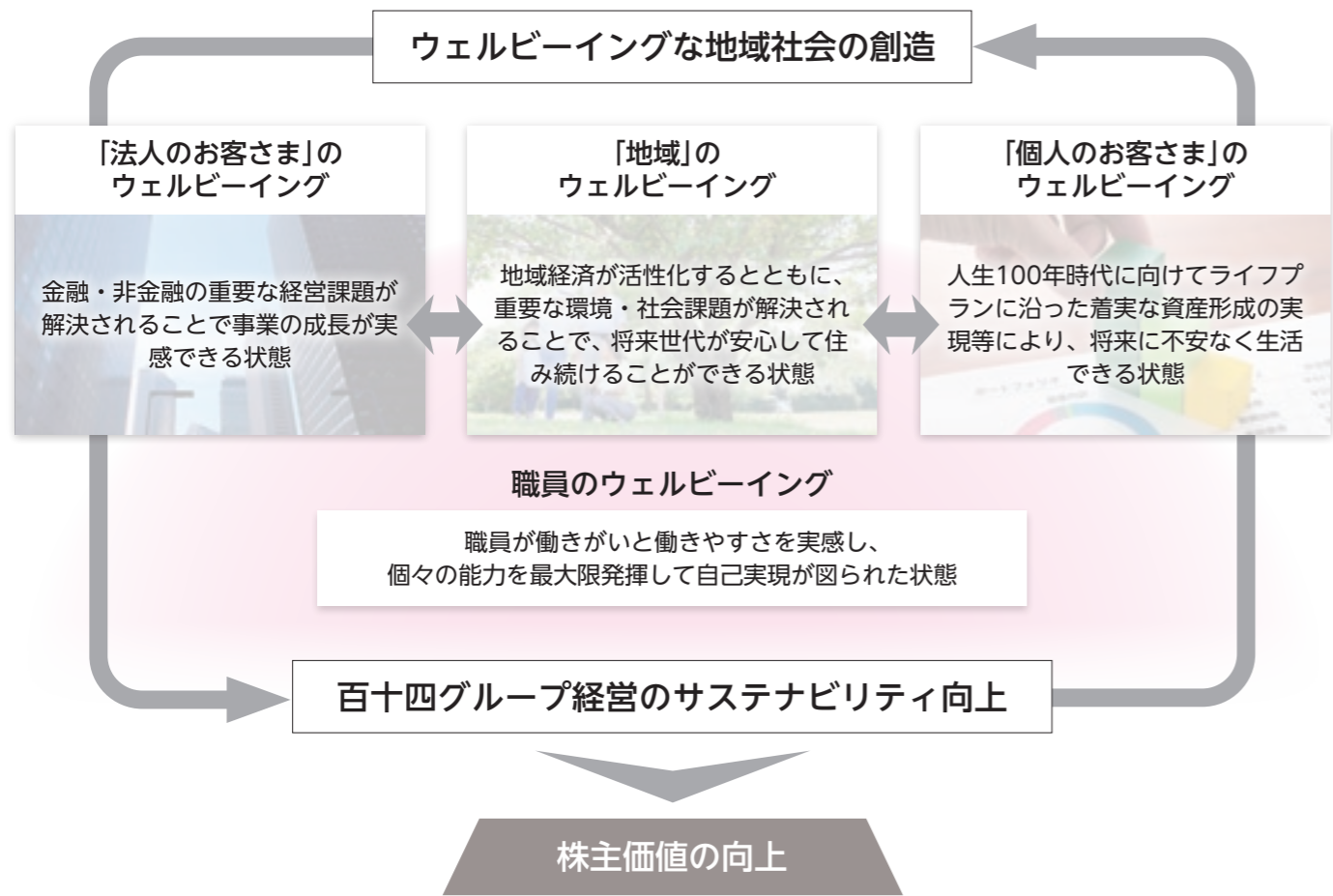
長期ビジョン(百十四グループが長期的にめざす姿)

人口減少・少子高齢化の進展に加え、脱炭素・循環型社会への移行や加速するデジタルシフトへの対応等、地域のサステナビリティに関わる課題は多様化・複雑化しております。このような環境変化の中で、私たち百十四グループが地域とともに持続的に成長するためには、長期的な視点で地域のサステナビリティに関する課題に主体的に取り組むことで、経営の持続可能性を高めていく必要があります。

こうした認識のもと、百十四グループは、サステナビリティに関する課題のうち優先的に取り組むべき重要課題を「百十四グループマテリアリティ」として特定するとともに、マテリアリティの解決に向けて長期的にめざす方向性として「長期ビジョン2030」を定めました。

私たちが実現したいこと — ウェルビーイングな地域社会の創造

長期ビジョンの策定に際し、まずは各ステークホルダーの「ウェルビーイングな状態」を考えました。私たちは各ステークホルダーのウェルビーイング実現に向けたパートナーとして伴走していくことで、“地域のみんな”と一緒に環境・社会価値の向上したウェルビーイングな社会を創ってまいります。



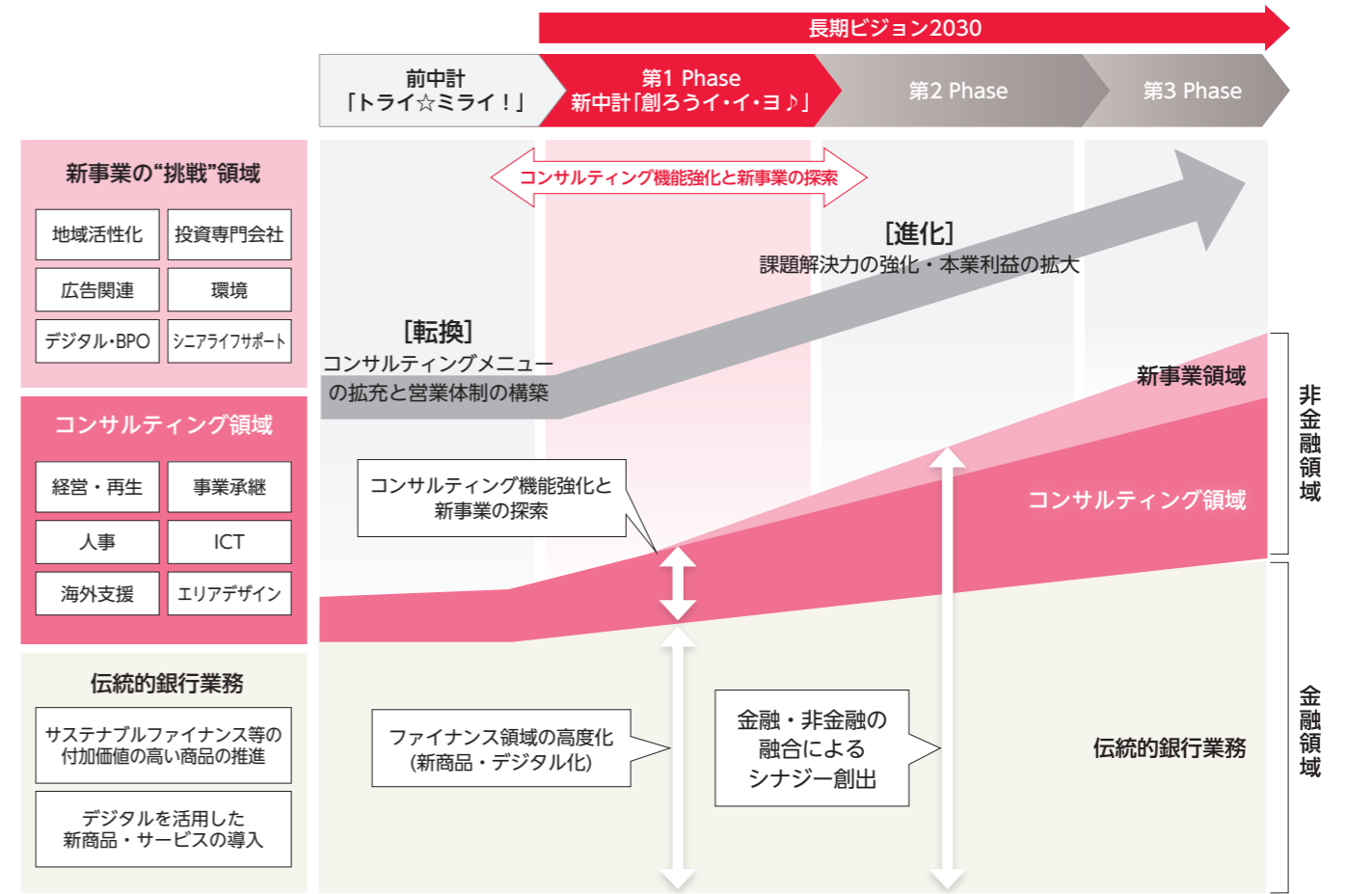
2030年度を見据えた百十四グループがめざす姿

長期ビジョン2030

総合コンサルティング・グループの進化により、
地域のみならずウェルビーイングな社会を創造する

その実現に向けて — 総合コンサルティング・グループを進化させる

めざす姿の実現に向けて、私たちは前中期経営計画「トライ☆ミライ！」より進めてきた「総合コンサルティング・グループへの転換」の取組みを更に進め、「金融サービスの高度化」と「非金融の領域拡大」によりお客さま・地域の課題解決力を更に強化するとともに、ファイナンスとコンサルティングのシナジーの徹底追求により本業利益の拡大を図ることで総合コンサルティング・グループを進化させてまいります。



環境・社会価値

重要な環境・社会課題の解決により、“地域のみんな”がより良くあり続けられるウェルビーイングな社会の実現

- グループマテリアリティに係るサステナビリティKPIの達成

環境・社会価値と経済価値の両立

..... ビジョン実現により生み出す価値

経済価値

収益性向上と経営基盤強化による百十四グループの経営のサステナビリティの向上

- 長期的にめざす水準
- 連結ROE5%程度
- 連結自己資本比率10%程度